

広報み に No.465 平成24年4月 2012. 4



組合立小学校最後の卒業生

国見町と伊達市の小学生と一緒に仲良く学んできた大枝小学校では、組合立小学校として最後の卒業生が思い出の学び舎を巣立ちました。

◆ 今月のおもな内容 ◆

3・11から一年	2
特集 閉校	4
平成24年度当初予算	10
コンビニ収納がはじまります	14
介護保険料が変わります	16
保健だより	24
くらしの情報	26
生涯学習つうしん	28



3.11を忘れない

3.11 震災からの復興と希望の集い

震災から1年が経過した3月11日、町の復興を願って「3.11 震災からの復興と希望の集い」が観月台文化センター体育館で開催されました。集いでは、震災時に体験したことや復興を願う作文の発表、震災直後の町の様子を写した写真のスライドショーが行われました。また、震災発生時刻の午後2時46分に合わせ、会場に集まった全員で黙とうをささげました。

引き続き、神奈川県在住のアカースティックデュオ「ふたり」による復興支援ライブが開かれ、国見町に因る「small cherry」という曲も披露され、会場に集まった人々に元気を与えてくれました。

この集いは、国見町まちづくり推進協議会が主催となって、町の皆さんが協力して作りあげたもので、復興を願う人々の心が一つになった一日でもありました。

1 震災関連のスライドショー上映 2 全員で黙とうをささげる 3 協力して行った準備と後片付け 4 「ふたり」のライブ 5 メッセージボードに寄せがきを記入する人々



代表して3名の方が震災に関する作文を発表。それぞれの立場で1年前のことを振り返り、前向きな気持ちで作文として発表。写真左から安藤千紘さん（藤田小6年）、中山宗隆さん（光明寺）、安田節子さん（町東）。安田さんは、集いの司会も務めました。

「ふたり」が歌う『small cherry』
東北自動車道国見サービスエリア下り線にある「雑記帳」というノートがもとになってできた曲。「振り返ればたくさんの人に支えられているsmall cherry」という歌詞から、音楽を通して目の前の人を応援しようという「ふたり」の気持ちが込められています。



町の元気を取り戻す

開催 国見おもしろ再発見！

国見町商店街活性化委員会（近久寿幸委員長）主催の「食」をテーマとした復興イベント「国見おもしろ再発見！」が3月25日、藤田商店街で開催されました。

当日は、B級グルメとして人気のある「なみえ焼そば」、さばの味噌煮を素材としたご当地バーガーの「国見バーガー」などの屋台が出店し、多くの人々で賑わいました。また、テレビでおなじみの人気芸人「デンジャラス」や「フラガールショー」、「国見よさこい」などのステージイベントもありました。

近久委員長は、「多くの人で賑わって良かった。地域のコミュニティ形成につながるイベントとなったと思う」と、話していました。

※写真提供：国見町商店街活性化委員会



1 みんなで記念撮影 2 人気芸人「デンジャラス」を見ようとする人々 3 移動販売車の出店に並ぶ人々 4 ステージイベント「国見よさこい」

今年を復興元年として！

昨年3・11の未曾有の大震災、そして福島第一原発の放射能災害から一年を経過いたしました。

町内の街並みも、被災した家屋を取り壊されたり、改築した新しい家が建ち始めるなど震災前とは大分変わってしまいました。

震災の被害は、町民みなさんの懸命の努力で復旧の兆しが見えてきておりますが、原発の放射能問題は収束の見通しが立たず、風評被害は一段と厳しさを増してきた感すらあります。

このような中にあり、本年度を国見町の復興元年と位置づけ、除染と農産物の放射性物質低減化対策を第一として取り組み、同時に、震災前の国見町を取り戻すことはもちろん、より以上の国見町を作るために諸施策を全力で取り組んでまいります。

まず、防災拠点、そして、町民福祉、産業建設、文化などの拠点でもあります。役場庁舎の復旧であります。

本年度中に全額国庫補助による現庁舎の取り壊しを行い、新庁舎の建設については、専門家の提案を受け、町民の代表の皆さんからご意見をいただき基本設計に取り組みしてまいります。

さらに本年度中にその実施設計に着手できればと考えております。

次に、国見町の資源（たから）を生かしたまちづくりとして、道の駅の実現に向けて国交省等との協議を進め平成26年度の開業を目指してまいります。

次に、民間で計画されている、100人規模の特別養老人ホームや、温泉計画に対し、早期実現に向けて直接・間接的な支援をしてまいります。

今年度は震災前の国見町から一歩ふみだす復興元年として全力で取り組んでまいります。

国見町長 佐藤 力

3・11から一年

震災、原発事故から1年が経過、町の復興に向かって開かれたイベントそこには、「協力して頑張っていこう」「明るく元気に生きていこう」「みんなの力で国見の町を復興させよう」という雰囲気がありました。



国見町小学校適正配置推進協議会委員長
佐藤 榮壽さん
(泉田上)

新たなスタート
統合は
不可欠な適正規模

五つの小学校がみんな同じ立場で新生の国見小学校に統合できて、本当によかったと思います。ホッとした心境です。平成23年4月から平成24年2月までの国見町の出生児数が32人と聞くにつけても、いちばんよい統合のしかたを選んだことになったと思います。

「閉校」のことだけを考えると、地区に今までにあった小学校がなくなるのですから寂しい限りです。

私が入学した時の校舎は、平屋の木造で、体育館はありませんでした。さらに自分達の入った1年生の教室は、離れに建つ雨天体操場で、風が吹くと屋根のトタン板が、バタンバタン鳴っていました。その校舎も、6年生の時に新二階建て校舎（現校舎の前の校舎）ができて、取り壊されました。5年半過ごした古い校舎には、愛着があり、寂しかった思い出が、今も鮮やかに蘇ってきます。現児童は、校舎があっても学校がなくなるのですから、それはそれは寂しい思いが強いことでしょう。

しかし、国見町のこれからの教育や、

子ども達に本当の学力をつける学校を考えた時、適正規模の学校にすることは不可欠です。適正規模の学校になることで、いろいろな多くの人（友達・先生等）や環境と関わって、「言う」だけでなく、「学んだことが生かせる」子どもに育つ可能性が大きくなります。

私達が小学校に入学したころは、幼稚園などありませんし、地区にはバスなどの交通機関もありませんでした。そのため、みんな井の中の蛙の、ことばどおりの何にも分からない1年生です。保護者の方には、不安でいっぱいの人もたくさんいたのではないのでしょうか。ところが、みんなすぐに友達になり、真っすぐ下校するように言われたのに、あちこち道草を食って帰ったものでした。そして、いろいろなことを学習し、育ったのだと思います。たくさんの人と、早い時期から交流することは大切なことです。

しかたなく統合するのではなく、寂しい寂しいではなく、前向きに考えてもらいたいと思います。未来がある学校で学べる子ども達は、幸せだと思います。



— 特集 —

閉校

まちの小学校が一つになる
— 国見小学校開校 —



組合立大枝小学校の校旗が返納され、4月からは伊達市立大枝小学校となる。

小学校の閉校式に出席したのは、児童や先生、保護者だけでなく、その地域に住む多くの学校関係者の皆さんと歴代の教職員の皆さんでした。小学校は、先生と児童だけでなく、多くの皆さんの協力のもと運営されていることの表れであります。児童のお別れの言葉にも、「地区の皆さんと一緒に取り組んだ運動会が小学校の最高の思い出」という言葉がありました。

閉校の日、改めて国見町の小学校は、地域に根差した小学校であることを誰もが感じました。



藤田小学校では、閉校式にPTAによる記念の植樹が行われ、ソメイヨシノの苗木を植えた。



森江野小の閉校記念行事「おもい出を語る会」の会場に用意された昔の写真を見入る人々。



藤田小学校の閉校式。最後に校歌を出席者全員で歌い、藤田小学校に別れを告げた。



森江野小の閉校行事として、閉校記念碑を建立し、除幕式を行った。



大木戸小の「ありがとう大木戸小の会」では、お世話になった先生に花のプレゼント。



小坂小学校では、昭和の時代にあった校歌に合わせた体操を復活させ、閉校式で披露。

それぞれ小学校の特色が活かされた閉校式。1年間かけて準備してきた式典や記念碑の序幕、記念の植樹、小学校の歴史において一つの区切りとなるセレモニーを町の人みんなが一緒になって成功させました。閉校式は、藤田小学校が3月15日、残る4校は3月23日の卒業式終了後に行われました。式では、それぞれの小学校の校旗が校長先生から町長（大枝小は管理者）に返納されました。続いて公式の場では最後となる小学校の校歌を出席者全

みんなの力で
成功させた閉校式

平成24年3月、国見町内の五つの小学校が138年に及ぶ長い歴史の幕を閉じました。小学校統合シリーズの2回目は、閉校式の様子と五つの小学校が歩んできた歴史をお届けします。



国見の小学校、 ことはじめ

最初に設立された
小学校、現在の泉田
泉秀寺（奥が本堂）

郷土史研究家 菊池 利雄 さん

明治5年（1872）8月、明治政府は「邑二不学ノ戸ナク、家二不学ノ人ナカラシメン」と「学制」を發布した。全国の各地に小学校を設置して、父兄に女子を含めた、児童の就学を義務づけたのは今から140年前のことである。欧米の優れた文物制度を、積極的に摂取し近代化をめざした国家にとって、学校制度の整備も、その一環として推進されたものである。

これを国見町についてみれば、最初に設立された小学校は、明治6年に泉田村の泉秀寺を、仮校舎として発足した泉田小学校である。この学校は小坂、藤田、大木戸内の旧村を学区としていた。これとは別に森江野、大枝の旧村は、伊達崎村の大林寺を仮校舎とした、伊達崎小学校の学区に所属していた。しかしながら学校から遠い村々からの、幼い学童達の通学は容易なことではなく、これを解消すべく各村では、資金を調達して逐次校舎を新築したり、寺院や空家を借り受けて、本校から独立した学校に昇格していった。本稿の意図も今では忘れ去られようとしている、国見での小学校教育の発祥地として、記念すべき泉田の泉秀寺、伊達崎の大林寺に、もっと関心を寄せて頂きたいとの願いでもある。この時期行政区画は大小区・戸長役場、町村制等と変化し、小学校もこれに伴い移転するなど、複雑な経緯をたどるが、『国見町史』や各学校の『百年史』等に詳しく参考にして頂きたい。

当時の小学校義務年限は四年制で、小額ながら授業料が徴収されていた。百姓と女子には、学問はいらないとされた時代に、学齢に達した児童は、村の勧誘があっても、入学者は少なく特に女子の就学率は低かった。授業については従来の寺小屋のように、論語・庭訓往来等の素読からではなく、児童の知能の発達に応じた、簡易な物から難しい物へと、教科書を使用した集団授業が採用され、体操の時間が多かった。学校は小規模校が多く教師も1人か2人位であり、新たに教科となった、算用数字を使った算術や理科を教える、教師を探すのに苦労したといわれる。このように、幾多の辛酸を経ながら創設期の学校教育も、次第に地域の人々からの理解が深まり、就学率も向上していった。

今年度から国見町では各地区の小学校を統合して、町の将来を担う人材の育成に取り組む、国見小学校が発足する。これまで地域の人々から心の依り所として、慣れ親しんできた、幼き日の学び舎が無くなるのは、寂しい限りではあるが未来を見据えて、国見小学校の将来に期待してやまない。

平成	昭和					
24年3月 閉校	56年2月 新校舎落成	48年8月 学校創立100周年記念式典挙行	35年 校歌制定	31年8月 体育館落成	29年4月 町村合併により国見町立小坂小学校となる	22年4月 小坂国民学校と改称
24年3月 閉校	57年2月 新校舎落成	48年12月 学校創立100周年記念式典挙行	36年7月 体育館落成	29年4月 町村合併により国見町立藤田小学校となる	28年12月 創立80周年記念式典改称（中学校併設）	22年4月 藤田国民学校と改称
24年3月 閉校	59年11月 創立110周年記念式典挙行	48年11月 創立100周年記念式典挙行、校歌制定	36年4月 大木戸中学校廃止（県北中に統合）	29年4月 町村合併により国見町立大木戸小学校となる	22年4月 大木戸国民学校と改称	8年12月 帽章（校章）を制定
24年3月 閉校	48年11月 創立100周年記念式典挙行	41年6月 校旗制定	36年3月 大枝中学校閉校となる	29年7月 町村合併により国見町立大枝小学校となる	22年4月 大枝国民学校と改称	
24年3月 閉校	48年11月 創立100周年記念式典挙行	41年6月 校旗制定	36年3月 大枝中学校閉校となる	29年7月 町村合併により国見町立大枝小学校となる	22年4月 大枝国民学校と改称	

～ 小 学 校 の あ ゆ み ～

大正	明 治				
13年4月 高等科を併設、小坂尋常高等小学校と改称	27年2月 現在地に校舎を新築し、移転	26年3月 火災により校舎を焼失	22年4月 小坂尋常小学校を松蔵寺に開設	9年4月 小坂村松蔵寺内に小坂小学校を開設	6年7月 泉田泉秀寺内に泉田小学校を開設
	42年4月 現在地に校舎を建築	35年11月 現在地に校舎を建築	<p>昭和22年まで使用されていた藤田小学校の校舎</p>		6年12月 藤田小学校創設（大千寺を校舎として利用）
11年4月 高等科を併設、森江野尋常高等小学校と改称	42年5月 森山尋常小学校は、森江野尋常小学校に合併	25年10月 森山地区は独立して森山尋常小学校となる			23年4月 藤田小学校から独立して森江野尋常小学校となる
11年4月 高等科を併設、大木戸尋常高等小学校と改称		25年10月 大木戸尋常小学校と改称	21年7月 大木戸村霞原に校舎を新築移転、厚樫尋常小学校と改称、光明寺分教場廃止	20年4月 高城尋常小学校と改称	6年9月 泉田小学校東大窪支校創設（安養寺を仮校舎として利用）
15年4月 高等科を併設、校舎を現在地に改築移転、大枝尋常高等小学校と改称		25年12月 大枝尋常小学校と改称		20年4月 東大枝尋常小学校となる	7年6月 徳本寺内に伊達崎三支校開設
				10年2月 西松寺内に西大枝小学校開設	





昭和62年度卒業生
鈴木涼子さん
(大枝)

大枝小学校は、運動会に「縄ない競争」をやっている、子どもたちはそれを見ながら昔ながらのものを引き継いでいるところがあります。普通は若い人だと、なかなか縄ないができないけど、そういう文化に小さいころから親しんできたので、大枝の人は若い人でも縄がなえたりなど昔から地域ぐるみの小学校だと思っています。

小学校がなくなることは、すごく寂しいと思います。大枝小学校は母校として今後も見守っていきたいです。



昭和57年度卒業生
佐藤克美さん
(藤田)

藤田小学校と言ったら、何とんでも「テンポコナシ」です。テンポコナシの木ともう一つの木の間に大きな土管が以前はあって、そこをくぐったりして遊んだことが一番の思い出です。また、以前の木造校舎は、とても古かったという印象が強いです。冬は、校舎の中に雪が入ってくることもありました。

藤田小学校の名前は無くなりますが、新しい小学校で子ども達が心を一つにして頑張っていってほしいと思っています。



平成17年度卒業生
澁谷健司さん
(大木戸)

小学校時代の思い出は、6年生の時に学習発表会で劇をやったことです。6年生13人がみんなでキャストやストーリーを考え、一つの劇を作り上げたことが印象に残っています。小さな小学校だからできたことだと思います。

大木戸小学校が無くなるのは、寂しいですが、新しい学校では、これまで違う小学校だった友達同士が一つの小学校で学ぶことになるので、みんな仲良くやってほしいと思っています。



平成3年に完成した大枝小学校新校舎

明治19年国の小学校令施行により、現東大枝公民館の南付近に東大枝小学校があった。そこに明治22年に西大枝村、川内村、東大枝村の三力村が合併し大枝尋常小学校として発足した。それから大正14年までおよそ35年間大枝村の教育の中心としての役割を果たしてきたことになる。

組合立小学校として ～大枝小学校のあゆみ～

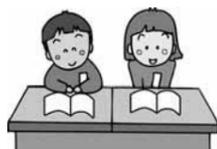
元国見町議会議員、大枝小学校組合議会議員

玉手 昭市 さん

式を迎えられた。その後、昭和23年に校舎の東側に大枝中学校が新築されている。平成に入り、住民の強い要望を受け、校舎の全面改

築がされて、平成3年4月26日全地区民挙げての大枝小学校改築落成祝賀会が開催された。その間には、町合併により大枝地区は梁

母校の思い出



昭和31年度卒業生
齋藤 弘さん
(藤田)

私は、5年生の時に大木戸小学校から藤田小学校に転校しました。そこで、プールがあったのがとても新鮮でした。それまで、川や沼でしか泳いだことがなかったため、初めのうちはうまく泳げませんでした。また、プールの消毒が終わらないうちに先生の目を盗んで入り、見つかって怒られたことも今となっては思い出です。

今回の統合は、適正規模の学校で子ども達が自分の力を発揮し、伸ばしていけるという面で良いことだと感じています。



昭和57年度卒業生
佐藤 忠さん
(森江野)

森江野小学校は、幼稚園と小学校がつながっているのが特徴で、幼稚園からずっとみんな一緒という感じでした。それでも1年生になった時は、不安がいっぱいで

した。それが学年が上がるにつれて、学校に愛着をもてるようになり、6年生の時には古い校舎を一生懸命清掃していました。

森江野小学校が無くなるのは寂しいですが、校舎は今度幼稚園となるので、地区として幼稚園児の成長を見守っていきたいです。



昭和50年度卒業生
齋藤哲夫さん
(小坂)

小坂小学校の思い出と言ったら、静岡県の西気賀小学校との交流です。遠く離れている友達と文通を繰り返し、5年生の夏と冬、実際に会って交流するのは、小坂小学校の児童にとって大きな財産となっています。私自身も、PTAとして交流活動を通して多くのものを得ることができました。

国見小学校が、新しい小学校として活性化していくためには、町の人口が増え、町全体が活性化することも必要と思っています。

川、国見両町に分れることになり、大枝小学校は両町の組合立として存続し現在に至っている。組合立小学校であるが、当初は両町が2カ年ずつ交代で管理とする取り決めで発足した。当然のことながら、管理者となる町長と教育委員会、事務局各総務課が2年ごとに交代での運営が始まった。組合議会議員は両町5人ずつで、議長は副管理者の町からとして副議長は管理者の町からと決めて始まった。教育委員、監査委員も同様に両町からの選出、事務局も両町2カ年交代として発足した。そんなことで十数年続けたが、一切が2年交代の結果、不都合なことがでてきたため、昭和45年度から管理体制の一本化の話が出てきた。そこで、小学校の所在地が梁川町であることから梁川町で管理することとなり、現在に至っている。また、この間組合議会の視察研修が毎年実施され、梁川、国見の町長、組合議員が参加していることから、視察先に

ついては十分検討され、毎年有意義な研修がなされ、相互の親睦の役目も果たしたことは、組合立なるが故にのなつかしい一面でもあったろう。



玉手昭市さん(中部)
昭和49年から平成19年まで国見町議会議員を9期33年間務める。その間、大枝小学校組合議会議員を20年にわたり務め、大枝小学校の発展に貢献。

大枝小学校は、県下でも珍しい組合立ということで注目される時代があったが、地区の方々は当初は分村騒ぎのあとで、多少のシコリはあったが、児童を考へてか、至って平穏な小学校運営が続いたと思っている。ただ、梁川、国見と同じような町運営の中でもお互い特異性があったか、中でも社会教育については、不都合なことがあって苦労している面があった。梁川町は公民館の組織が各地区に強く浸透しているが、国見町にはその組織が無いこと



大枝小学校組合さよなら議会
平成24年3月5日
大枝小学校組合議会の解散

で、末端の町民の自由な動きが見えてこないなど苦労した。その反面、町の方針が全町を対象にしており、優秀な人は伸びていける面は評価されるので、一長一短あるのは、いたしかたないものの、小学校教育と社会教育の難しさは、他校よりも強く感じるのであった。

いよいよ、少子高齢化の時代を迎え。小学校の統合により、明治、大正、昭和、平成と約130年余にわたって続いてきた大枝の中核だった学校、役場、農協などの施設が消えてしまうことは、一抹の寂しさを感じるのは、私だけではないであろうと思う昨今である。

――閉校―― 国見小学校の始まり

平成24年3月23日、最後の卒業生を見送った五つの小学校は、130年以上に及ぶ歴史の幕を閉じました。将来、国見町の歴史を振り返った時、この日は町の年表上に大きく「閉校」という文字が刻まれることでしょう。

小学校の閉校は、町にとって大きな出来事で、地域の核であった小学校が無くなることは、みんなにとって寂しいものです。一方で、新しい小学校誕生への一つのステップでもあります。

3月末、閉校した小学校から、新しい国見小学校への引越作業があり、それぞれの小学校の良いところが書類や備品とともに運び込まれました。それぞれの小学校の良いところを集め、町で一つとなる国見小学校は、新しい歴史を作っていきます。

閉校は、終わりではなく、始まりの時です。

■特別会計 (単位:千円)

会計名	予算額	増減率
山長育英財産	645	0.0
給食センター	91,784	0.6
国民健康保険	1,273,130	△1.0
後期高齢者医療	97,568	△1.4
介護保険	875,806	△1.7
湧水対策施設	7,600	81.0
公共下水道	276,000	23.8
土地開発事業	118,000	△16.3
計	2,740,533	0.2

■財産区会計 (単位:千円)

会計名	予算額	増減率
大木戸財産区	157	△1.3
入山財産区	186	△2.1
各財産区の管理に要する経費を計上しています。		
石母田財産区	460	△53.3
(石母田財産区議会により議決)		

■公営企業 水道事業会計 (単位:千円)

区分	収入	支出
収益的収支	233,167	212,591
資本的収支	54,987	75,019

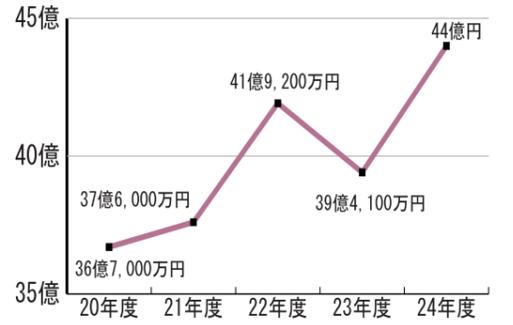
■一般会計性質別内訳 (単位:千円)

性質別	予算額	増減率
義務的経費	1,706,969	△3.9
人件費	958,579	△1.2
扶助費	344,241	△6.2
公債費	404,149	△8.0
一般的経費	1,824,195	17.1
物件費	788,928	42.1
維持補修費	8,500	△53.8
補助費等	1,026,767	4.3
投資的経費	395,136	136.1
普通建設費	395,134	136.1
補助事業	156,022	281.0
単独事業等	239,112	89.2
災害復旧費	2	0.0
投資及び出資金	18,000	350.0
貸付金	34,660	159.4
積立金	1,605	△25.0
繰出金	414,435	0.0
予備費	5,000	0.0
合計	4,400,000	11.6
*うち人件費総額	974,841	0.0

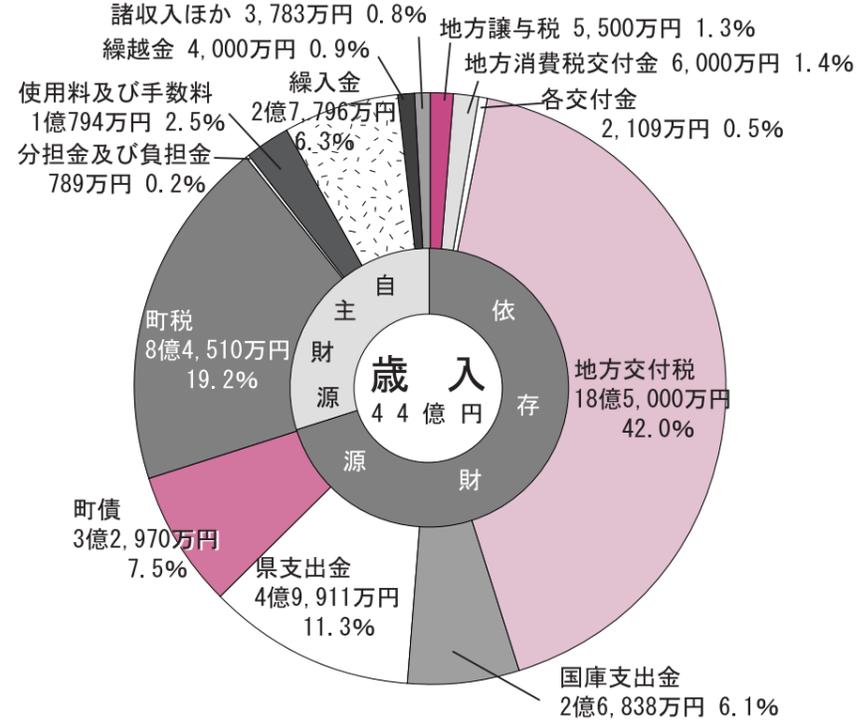
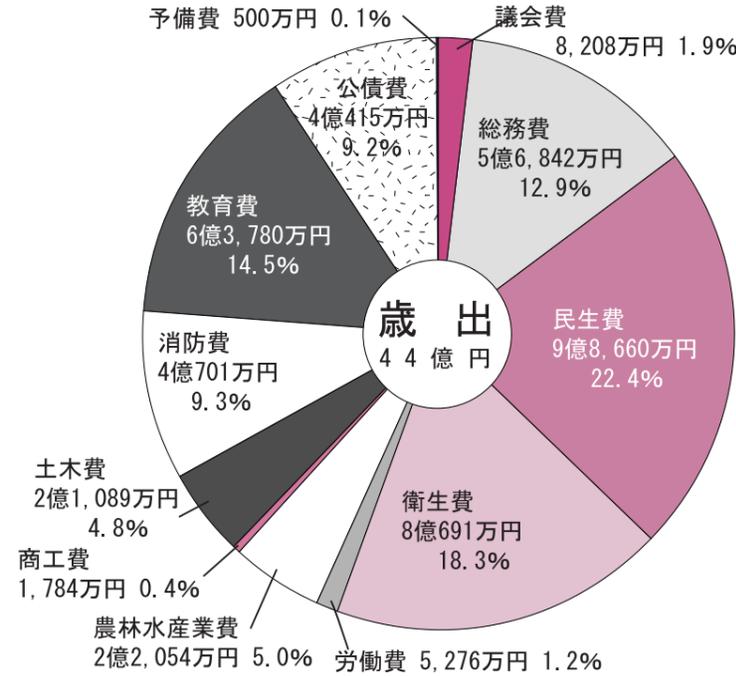
平成24年度 一般会計当初予算額は

44億円

一般会計当初予算額の推移



23年度と比較して4億5,900万円の減額(11.6%の増)となりました。



歳出 では、引き続き行財政改革に取り組み無駄の削減の徹底を図るとともに、第5次国見町振興計画の実現及び震災復興に重点を置いた予算となっています。また、平成25年4月開園に向けた幼稚園統合に要する費用、小学校の改修経費を計上しました。目的別の内訳は円グラフのとおりで、民生費が一番多く、中学生までの医療費無料化、少子高齢者対策を重視しています。衛生費では引き続き公立藤田病院への財政支援のため特別負担金を計上し、公債費では、前年度に繰上償還を行ったため前年度比8・0%の減となっております。教育費に

おいて、幼稚園統合に係る諸事業費計上のため、2億9千万円余り増となりました。8・8%の増となりました。性質別の内訳では、子育て支援に係る子ども手当の法改正に伴う減により扶助費が6・2%の減となり、公債費も前述のとおり減少となり、人件費とあわせて義務的経費では7千万円弱3・9%の減となっています。普通建設事業費では、幼稚園統合に係る事業により2億2千8百万弱、13・1%の大幅な増となり、その他の経費を合わせた一般的な経費は2億6千6百万円余り、17・1%の増となりました。詳細は性質別内訳表のとおりです。

歳入 では、自主財源の基本となる町税は、震災による固定資産税の減等により5千万円が減となり、町民税でも経済情勢を反映し、9百万円の減、一方軽自動車税で百万円、町たばこ税で1千3百万円の増により、総額8億4千5百万円程度、前年度比5・2%の減となりました。国・県支出金については、除染事業や幼稚園統合事業実施に必要な額を計上したため、大幅に増加していますが、地方譲与税や各交付金については、ほぼ前年並みとなっています。普通建設事業等に充当する町債は、幼稚園統合事業費の伸びにより増となりますが、町債残高の減額に努めながら、必要な歳出の不足財源を補うため、前年度に続き財政調整基金から1億9千9百万円余りを繰り入りました。また、地方交付税は、国の「対策」により増額され、当町においても前年度比5千万円の収入増を見込んでいます。

この結果、歳入総額に対し、町税等の自主財源は29・9%、地方交付税、町債等の依存財源が70・1%となりました。

平成24年度国見町各会計予算は、3月定例議会において議決され、4月より執行されました。第5次国見町振興計画の5本の政策である①「地域の資源を活かし、自然と調和したまち」づくり、②「互いに支え合い、安心して暮らせるまち」づくり、③「生きがいをもって、いつまでも楽しく働けるまち」づくり、④「地域の資源を受け継ぎ、心豊かな人を育むまち」づくり、⑤「あたたかく助けあう自主自立のまち」づくりの実現と、あわせて国見町復興計画に基づき復興元年としての事業を進めてまいります。

100%

米粉パンづくり

～国見オリジナル商品への挑戦～



庄司先生の 米粉100%パンとは…

アレルギーを持つ人でも、おいしいパンを食べることができるようにと、10年ほど前に庄司先生が米粉だけで作るパンの開発に着手。アレルギー物質とされる卵、牛乳、小麦粉などを一切使用しないパン。

また、アレルギー物質を含む食材を使用しないことから、腎臓病や高血圧予防にも効果があるといわれます。

米粉だけでパンを作ろうとすると煎餅や団子のようなパンになつてしまいます。小麦パンのようなふんわりとしたパンにはなりません。そ

「米粉でパンを作ろう」と始めた講座が終了しました。講師は長年、米粉研究を続けている郡山女子大学の庄司一郎教授。受講生は町内の女性たち10人。昨年12月から7回にわたって開催された実習講座は、小麦や乳製品などのアレルギー源を一切使用しない米粉100%のパン作りの技術を身に付けること、そして、商品化のために磨きかけることを目的に実施しました。

これは、小麦に含まれるグルテンという成分が米にはないからです。販売されている米粉パンの大半は、米粉と一緒に小麦も使われています。今回の講座では、小麦のグルテンの代わりに、アレルギー源とならない自然素材の成分を使用し、焼き上げることにしました。

試作と併せ、持ち寄ったアイデアの中からパンケーキやお焼きなどを試作、意見を交換を行いました。

講座の前半は、パン作りの基礎技術を身に付けることとでした。材料の配合割合を変えたり、焼き型を変えたりを繰り返しました。その後、首都圏に住む30人によるモニター調査を行いました。後半は、パンの付加価値を高めるためのジャム、

「牛乳や卵、化学調味料を使わずに料理ができることに気付いた」など、それぞれに米粉パンの魅力に驚いていました。

受講生は「米粉だけでパンができることは大発見」

米粉パン、夢の食品

郡山女子大学 家政学部
庄司 一郎 教授



7回の講座に皆さんが欠席しないで参加したことはすごいことです。単なる料理教室ではなく、国見の特産品を作ろうという気持ちを感じられました。

米粉パンに関しては、私が期待していた以上ものが出来上がりました。米粉パン以外にも地元の食材を活用した新たな加工品をみんなの知恵と力を結集して作ってほしいと思っています。

100%米粉パンは、腹もちがよく、アレルギー源がない、夢の食品です。町や受講生たちの夢とともに、町の特産品として花開くよう、今後も継続して取り組んでいくことが大切です。

庄司先生と試食を重ねる受講生



オリジナル米粉パンの試作に取り組む

生きがいをもって、いつまでも 楽しく働けるまち

- ・穿孔（せんこう）細菌病防除事業・・・240万円
- ・新規就業ステップアップ支援事業・・・150万円
- ・鳥獣被害対策実施隊設置・・・227万円
- ・捕獲用檻（おり）購入・・・27万円
- ・中山間地域直接支払事業・・・1,348万円
- ・除染事業（農地、樹園地）23年度からの繰越事業・・・6億6,490万円
- ・除染事業（林地）・・・1,386万円
- ・除染事業（牧草地）・・・3,308万円
- ・除染アドバイザー委託等・・・1,260万円
- ・商業の振興・・・1,488万円
- ・工業の振興・・・1,010万円
- ・FMラジオ放送による観光、イベント広報・・・2,480万円
- ・特産品の開発・・・250万円
- ・まちづくり推進事業・・・786万円

地域の資源（たから）を受けつぎ、 心豊かな人を育むまち

- ・幼稚園運営事業・・・1,663万円
- ・預かり保育事業・・・924万円
- ・幼稚園統合施設整備（森江野小改修）・・・1億9,063万円
- ・保育所運営・・・7,412万円
- ・放課後児童健全育成事業（放課後子どもクラブ）・・・1,210万円
- ・教育施設の整備、施設の改修工事等・・・3,464万円
- ・教育の充実・・・4,315万円
- ・生涯学習の推進・・・5,483万円
- ・芸術文化の振興・・・2,918万円
- ・スポーツの振興と団体育成・・・2,640万円
- ・文化財の保護管理・・・1,342万円

あたたかく助け合う 自主自立のまち

- ・自治振興、婦人活動の推進・・・1,122万円
- ・広報広聴活動の充実・・・198万円
- ・選挙関連経費・・・457万円
- ・外国人青年招致事業・・・486万円
- ・行政評価の導入・・・972万円
- ・e-L T A Xサービス事業・・・425万円
- ・コンビニ収納推進事業・・・60万円
- ・電子自治体推進事業・・・6,750万円
- ・文書管理事業・・・421万円
- ・住民基本台帳ネットワーク事業・・・517万円
- ・戸籍事務事業・・・590万円



藤田幼稚園での除染作業

平成24年度 まちづくりの 主な事業

地域の資源（たから）を活かし、 自然と調和したまち

- ・造林事業・・・660万円
- ・緊急雇用創出基金事業（林業技能習得事業）・・・2,474万円
- ・林道の整備・・・1,070万円
- ・ため池整備・・・727万円
- ・し尿・ごみ処理対策・・・1億1,826万円
- ・除染事業・・・1億8,768万円
- ・太陽光発電設備等推進事業・・・150万円
- ・水道施設整備事業（水道事業会計）・・・6,847万円
- ・下水道整備事業（公共下水道事業特別会計）・・・8,452万円
- ・合併処理浄化槽設置整備事業・・・1,149万円
- ・国見ニュータウン整備事業費（債務負担）・・・5億5,000万円
- ・町道の整備・・・4,139万円
- ・道の駅整備実施設計業務・・・2,373万円

互いに支え合い、安心して 暮らせるまち

- ・子ども医療費助成事業・・・4,721万円
- ・子どものための手当（仮称）・・・1億4,291万円
- ・健診（検診）事業・・・1,879万円
- ・予防接種・・・2,693万円
- ・放射線対応（健康管理・支援）事業・・・356万円
- ・公立藤田総合病院負担金・・・5億3,106万円
- ・高齢者医療制度の推進・・・2億3,654万円
- ・国民健康保険事業・・・13億6,943万円
- ・いきがい対策・・・1,596万円
- ・高齢者福祉サービス事業・・・10億3,450万円
- ・障がい者支援対策・・・1億2,313万円
- ・地域福祉計画の策定・・・265万円
- ・要援護者等見守り事業・・・20万円
- ・防災対策・・・2,031万円
- ・消防、救急対策・・・1億7,087万円
- ・防犯対策・・・581万円

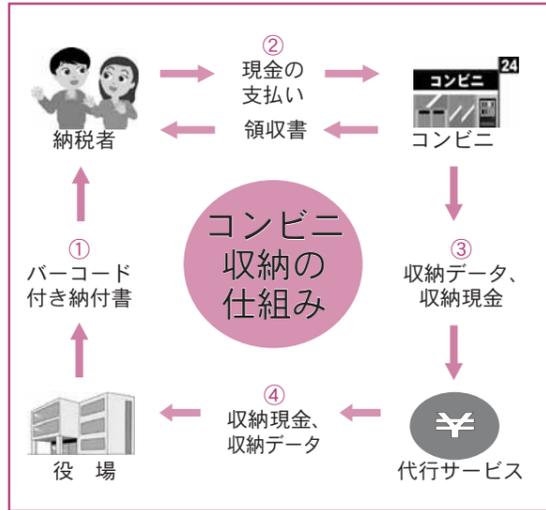
平成24年度の放射能対策の事業費は、
9億1,567万8,000円

◆主なもの
除染作業委託、仮置き場設置工事、農地の除染

4月から、全国のコンビニエンスストアで町税が納付できます。

コンビニ収納 がはじまります！

町では、税金をもっと便利に納付していただくため、曜日や時間に関係なく24時間いつでも気軽に納付できる「コンビニ収納」を始めます。4月1日からは、これまでの町役場や金融機関での納付に加えて、全国のコンビニエンスストア（以下「コンビニ」）での納付ができるようになります。



●納付方法
次の手順のとおり納付方法は、簡単です。

- ① 納付書をコンビニのレジに提出
- ② 納付書のバーコードを読み取りますので、その金額を納付してください。
- ③ 領収書を受け取り、大切に保管してください。

- 納付できるコンビニ**
- セブンイレブン ○ローソン ○ファミリーマート
 - セーブオン ○ミニストップ ○コミュニティ・ストア
 - サークルK ○サンクス ○デイリーヤマザキ
 - ヤマザキデイリーストア ○生活彩家
 - くらしハウス ○ポプラ ○スリーエフ
 - スリーエイト ○MMK (マルチメディアキオスク) 設置店
 - ヤマザキスペシャルパートナーショップ

●コンビニで納付できる税金
(普通徴収分)

- ・町県民税 (普通徴収分)
- ・固定資産税
- ・軽自動車税
- ・国民健康保険税

◆コンビニ収納できる督促状 (サンプル) ◆

◆コンビニ収納できる納付書 (サンプル) ◆

督促状

平成23年度 町県民税普通徴収 納付書兼領収済通知書
国見 一郎 様

21 11011100000076410300000010000
000000000060000006

平成24年 2月 5日 発行

賦課年度	平成23	対象年度	平成23
通知書番号	0000007641		
税(料)目	01	期別	3期
税(料)額	100 円		
督促手数料	0 円		
延滞金	0 円		
合計	100 円		
個人番号	0000037842		
納期限	平成23年11月30日		

納付書

平成23年度 町県民税普通徴収
国見 一郎 様

通知書番号	0000007641
期別	3期
税(料)額	100 円
督促手数料	0 円
延滞金	0 円
合計	100 円
義務者番号	0000037842
納期限	平成23年11月30日
調査日	
福島県 国見町 073032	

督促状兼領収証書
下記の町税等が未納ですので、至急納付してください。
なお、すでに納付されている場合は行き違いですのでご容赦願います。

通知書番号	0000007641
期別	3期
税(料)額	100 円
督促手数料	0 円
延滞金	0 円
合計	100 円
義務者番号	0000037842
納期限	平成23年11月30日
調査日	
福島県 国見町 073032	

重要

国見町
〒969-1792
福島県伊達郡国見町大字藤田字親月台15番地
国見町親月台文化センター内 (仮庁舎)
税務課 収納係 電話 024-585-2780
電話 024-585-2111 (代)

納付書

平成23年度 町県民税普通徴収 納付書兼領収済通知書
国見 太郎 様

21 11011100000076410400000130000000001000
02000008

平成23年度 町県民税普通徴収
国見 太郎 様

賦課年度	平成23	対象年度	平成23
通知書番号	0000007641		
期別	4期	期別	4期
税(料)額	1,300 円		
督促手数料	0 円		
延滞金	1,000 円		
合計	2,300 円		
義務者番号	0000037842		
納期限	平成24年 1月31日		
調査日			
福島県 国見町 073032			

領収証書

平成23年度 町県民税普通徴収
国見 太郎 様

通知書番号	0000007641
期別	4期
税(料)額	1,300 円
督促手数料	0 円
延滞金	1,000 円
合計	2,300 円
義務者番号	0000037842
納期限	平成24年 1月31日
調査日	
福島県 国見町 073032	

◆問い合わせ先
税務課 収納係
☎ 585-2780

●税金課からのお願い
コンビニで納付後、すぐに「納税証明書」の申請をする場合は、領収書を税務課窓口までご持参ください。

町での納税が確認できるまで1〜2週間かかる場合がありますので、ご持参いただいた領収書により納税の確認を行い、「納税証明書」を発行します。

●次の場合は、コンビニで納付できません。
1枚の税額(1期分の税額)が30万円を超えるもの
税額を訂正したもの
バーコード表示がないもの
汚損などによりバーコードの読取りができないもの
納付書のミシン目を切り離したもの

●コンビニ収納利用期限日
◎現年度(平成24年度)当初発行納付書については、平成25年5月31日まで(納期限以降の再発行納付書については、発行日から1カ月まで)
◎過年度(滞納繰越分)過年度の再発行納付書については、発行日から1カ月まで

◎督促状
発行日から1カ月まで

◎指定金融機関の本店・支店
・福島信用金庫
・株東邦銀行
・株福島銀行
・株大東銀行
・伊達みらい農業協同組合
・東北労働金庫

◎ゆうちょ銀行または郵便局(督促状を除く)
・東北6県(福島県、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県)内に限る。

●納付書を紛失した場合
は、納付書を再発行しますので、お問い合わせください。

※納付書を紛失した場合
は、納付書を再発行しますので、お問い合わせください。

●次の場合は、コンビニで納付できません。
1枚の税額(1期分の税額)が30万円を超えるもの
税額を訂正したもの
バーコード表示がないもの
汚損などによりバーコードの読取りができないもの
納付書のミシン目を切り離したもの

●コンビニ収納利用期限日
◎現年度(平成24年度)当初発行納付書については、平成25年5月31日まで(納期限以降の再発行納付書については、発行日から1カ月まで)
◎過年度(滞納繰越分)過年度の再発行納付書については、発行日から1カ月まで

◎督促状
発行日から1カ月まで

町税などの納付 は納期限内に!!

介護保険制度のご理解とご協力を

町では、第5期介護保険事業計画を策定するにあたり、要介護認定者や一般高齢者の方にアンケートを実施し介護サービス利用の実態や利用希望を分析し、国見町地域福祉推進協議会で検討を重ね策定したところです。

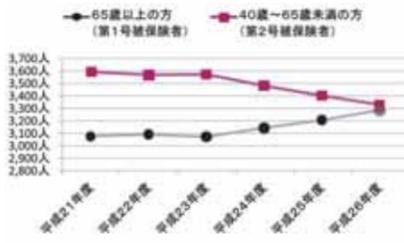
特に今回の計画では、団塊の世代の方々が65歳に到達する段階を迎えることから、実際に介護サービスを受けるであろう平成27年以降の介護保険制度運営も視野に入れながら、サービス供給体制の確保と適切な保険料算定に努めたところです。

さらに、保険料上昇を抑えるため介護保険準備基金(急激な給付増に対応するための基金)からの一部取り崩しと県より交付される財政安定化基金交付金を併せ1,250万円を充当したところです。

高齢化が進むなかで、介護サービス費も増えておりますが、介護を社会全体で支える介護保険制度の重要性はますます高まっており、みなさまのご理解、ご協力をお願いします。

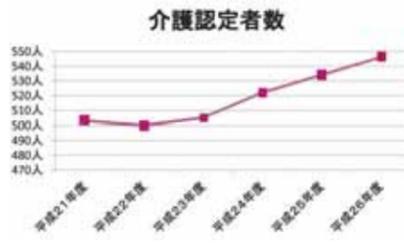
◆問い合わせ
保健福祉課長寿介護係
☎ 585 - 2125

■第1号被保険者(65歳以上の方)と第2号被保険者(40歳～65歳未満の方)の推移



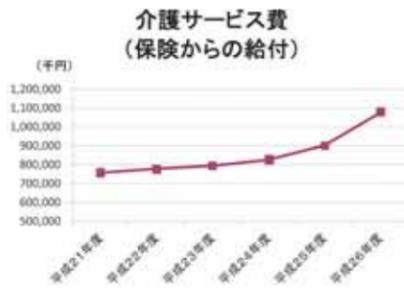
第4期計画(平成21～23年度)と第5期計画(平成24～26年度)を比較すると、平成24年度から65歳以上の方が大幅に増加が見込まれます。これは、団塊の世代の方が65歳に到達されるためです。

■介護認定者数の推移



介護認定率は平均16.5%で変化はないと見込まれるため、第1号被保険者数の増加が認定者数の増加となっています。

■介護サービス費(保険からの給付)の推移



認定者数の増加に伴い、今後も介護サービス給付費については、増えるものと見込まれます。また、要望のあった特別養護老人ホームなどの施設開所を平成25年度から見込んでおり、施設系サービス供給量の増大や居宅サービス利用も増加傾向にあるため、介護サービス費は増加するものと見込まれます。

◆第1号被保険者(65歳以上の方)の介護保険料◆

区分	対象者	負担割合		
		負担割合	月額保険料	年額保険料
平成24年度～26年度				
第1段階	生活保護受給者	0.50	2,419円	29,000円
第2段階	世帯全員住民税非課税で本人年金収入80万円以下の方	0.50	2,419円	29,000円
第3段階	世帯全員住民税非課税で本人年金収入80万円以上の方	0.70	3,386円	40,600円
第4段階	世帯の誰かが住民税課税されているが、本人は非課税で年金収入や合計所得金額の合計が80万円以下の方	0.85	4,112円	49,300円
(基準額) 第5段階	世帯の誰かが住民税課税されているが、本人は非課税で年金収入や合計所得金額の合計が80万円以上の方	1.00	4,838円	58,000円
第6段階	本人住民税非課税で前年の所得金額が200万円未満の方	1.25	6,047円	72,500円
第7段階	本人住民税課税で、前年の所得金額が200万円以上400万円未満の方	1.60	7,740円	92,800円
第8段階	本人が住民税課税で、前年の所得金額が400万円以上の方	2.00	9,676円	116,000円

65歳以上の方の介護保険料が変わります

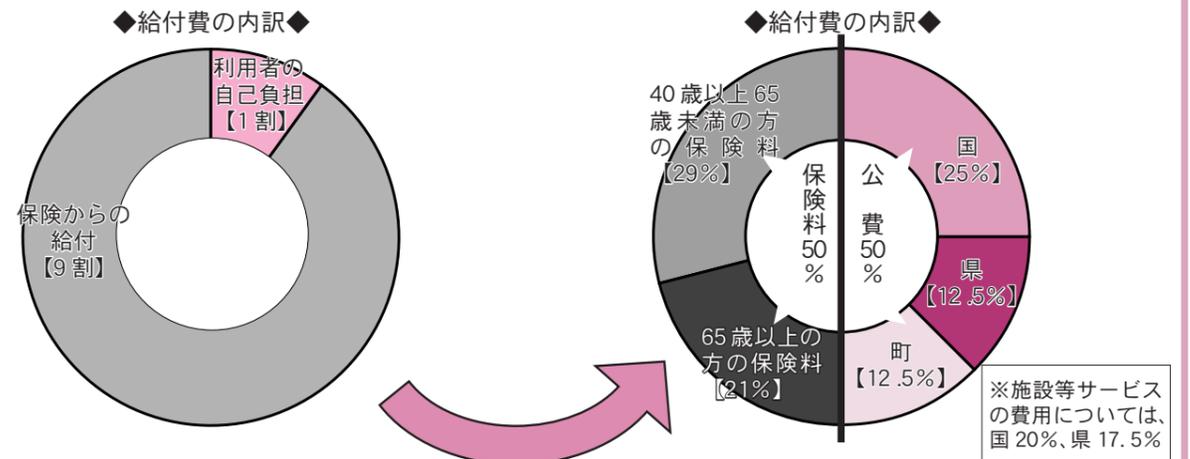
～平成24年度から26年度までに必要な介護サービス費をまかなうため、

65歳以上の方の介護保険料が見直されました。～

介護保険料は、介護保険事業計画の介護保険サービス費などを基に算定されます。

同計画は制度を持続的に運営するため3年ごとに見直しを行うことになっており、このたびの見直しにより、平成24～26年度までに必要な介護サービス費をまかなうため、65歳以上の方の介護保険料を改定させていただくことになりました。

介護保険制度の仕組み



平成24年度からの介護保険料の改定

介護保険は、被保険者に介護サービスを提供することで、被保険者とその家族を支えるしくみですが、介護サービス費のうち、1割を利用者が負担し、残りの9割を保険から給付します。

保険から給付する費用の財源は、公費(税金)と保険料でまかなく、65歳以上の方の保険料はその財源の約21%をまかなく。

介護保険は介護を必要とする方々が住み慣れた地域で、できる限り自立した生活ができるように、社会全体で介護を支えるためにつくられた制度です。

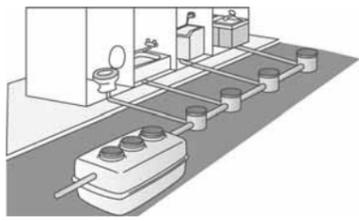
—介護サービス費などの推移見込み—

	65歳以上の方(第1号被保険者)	介護認定者数	介護サービス費(保険からの給付)	
平成21年度	3,078人	503人	7億5,700万円	3年間の合計 23億2,800万円
平成22年度	3,090人	493人	7億7,800万円	
平成23年度	3,072人	505人	7億9,300万円	
平成24年度	3,144人	522人	8億2,500万円	3年間の合計 28億100万円
平成25年度	3,206人	534人	9億100万円	
平成26年度	3,286人	546人	10億7,500万円	

※介護サービス費の23年度は見込額です。

—水のきれいな街へ—

合併処理浄化槽設置補助のお知らせ



町では、家庭から出る生活排水による公共用水域の水質保全と生活環境の改善および公衆衛生の向上を図るため、浄化槽を設置

しようとする方（下水道計画事業認可区域外の方）に対して、予算の範囲内で補助しています。

平成21年4月からは補助金の交付対象が一部変更となっています。これまでの浄化槽設置費用の補助に加え、次の条件を満たす場合は、単独処理浄化槽および汲み取り便槽の撤去費用も補助の対象となります。

浄化槽の補助金について

町で定める地域内において、処理対象人数10人槽以内の合併処理浄化槽を設置しようとする町民の方に補助金を交付します。ただし、併用住宅（店舗兼住宅等）については、住居部分が延床面積の1/2以上のものを住宅用途として補助します。

人 槽	浄化槽の補助金（限度額）
5人槽	332,000円
6～7人槽	414,000円
8～10人槽	548,000円

撤去費用補助金について

現在、使用している単独処理浄化槽や汲み取り便槽を合併処理浄化槽に転換する場合、単独処理浄化槽および汲み取り便槽の撤去費用を補助します。ただし、次の条件に該当する方のみを対象となります。

区 分	撤去補助金（限度額）
新たに設置される合併処理浄化槽の位置と従前の単独処理浄化槽が設置されていた位置と一部でも重なっている場合	45,000円
上記に記載された以外の場所	30,000円

指定検査機関の法定検査を受けてください

浄化槽法第11条の規定により、浄化槽管理者（設置者）は毎年1回、指定検査機関の行う定期検査を受けなければなりません。実施していない浄化槽管理者は、下記の検査機関までにお問い合わせ、お申込みください。

【県知事指定検査機関】

社団法人 福島浄化槽検査委員会 福島支所
〒960-8055 福島市野田町1丁目16番35号
☎024-531-1766

※検査に関するお問い合わせは、上記の機関または浄化槽の維持管理を委託している浄化槽保守点検業者へお願いします。

イキイキ子育てクラブ会員

募集

地域子育て支援センター（藤田保育所内）では、次の内容により今年度もクラブを開催します。

▼期間 平成24年5月から平成25年2月まで

▼場所 藤田保育所

▼活動内容

親子活動：行事の参加、親子ふれあい体操、サークル活動など

子育て学習：調理実習

▼対象者

就学前のお子さんを持つ保護者及び祖父母

▼締切 4月27日（金）まで

※申し込みなど詳しいことについては、土・日・祝日を除く午前9時から午後4時まで直接藤田保育所まで連絡ください。

◆問い合わせ 藤田保育所 ☎585-2374

「国見町除染支援事業組合」が設立
国見町除染支援事業組合の設立総会が3月2日、国見町商工会館で開かれました。
組合は、町の建設業者など46名で構成され、組合長に佐久間友一氏（有）佐久間工業）が選出されました。今後組合では、町民の安心安全のために、それぞれの専門技術を發揮し、町の除染事業を支援していくこととなります。



設立総会で就任のあいさつをする佐久間組合長

国見小学校 体育館



立派に完成

～待望の体育館・消防車～

国見小学校の体育館は、昨年4月に起工式を行ってから約10カ月の工期で予定どおり、3月上旬に完成しました。

体育館の広さは、建築面積が1,333.31㎡とミニバスケットボールのコートが2面確保できる広さとなります。また、2階には、多目的ミーティングルームが設置され、要所に県産材のカラマツを使

最新の消防車

用したのが特徴となっています。体育館建設の工事費は、2億7,772万5千円となり、その財源には、安全・安心な学校づくり交付金、公立学校施設整備費国庫負担金を活用し、他に学校教育施設等整備事業債を充当しました。今後この体育館は、町の将来を担う子どもたちに活用してもらうほか、災害発生時の避難所としても活用されます。

国見町消防団第2分団第3部（山崎）の消防ポンプ自動車交付式が3月4日、観月台文化センター駐車場で行われました。交付式では、佐藤力町長



より吉田春夫団長に対して消防車両の目録が手渡され、佐藤町長が「予防消防に活用していただきたい」とあいさつを述べました。今回、山崎地区に配備された消防ポンプ自動車は、四輪駆動の車両をベースに最新のポンプのほか、タッチパネル型の操作盤やホースカーと呼ばれる消防ホースを運搬する台車を装備しています。最新型消防車両の配備により、町の消防力が強化されることとなりました。

町の森林の利活用を —国見町森林委員会の答申—

国見町森林委員会は、町から諮問されていた「国見町森林整備計画の見直し」と「町の森林林業政策」についての答申書をまとめ、町長に手交しました。

森林委員会は諮問以降4回の委員会を開催し、第5回国見町振興計画に掲げられた「地域の資源（たから）を活かし、自然と調和したまちづくり」の推進、国の「10年後木材自給率50%以上を目標」とした森林林業再生プランを基軸に議論しました。また、答申書には、町民が安心して暮らせる町にするため、農地・林地の除染を、森林整備に優先して行うことも盛り込みました。

森林委員会は、今回提出した答申事項の検証や町の森林林業振興のための事業提案を行うとともに、町は全庁の共通理解のもと、横断的に取り組むこととします。

◆問い合わせ 産業振興課産業振興係 ☎585-2986

桜の季節 みなさんも桜にちなんだ 短歌を味わってみませんか 第8回国見町桜のうた表彰式

◆日時 4月15日（日）
午後1時30分（開場 午後1時）
◆会場 JA伊達みらい国見会館
◆内容 第8回国見町桜のうた入選者の作品を読み上げ、表彰します。（入場無料）
◆問い合わせ 国見町桜のうた実行委員会事務局（国見町企画情報課）
☎585-2927

「食」から復興を 元気プロジェクト町おこしシンポ



観月台文化センターで2月26日、「KUNIMI 元気プロジェクト 町おこしシンポジウム」が開かれました。国見町商店街活性化委員会（近久寿幸委員長）が、東日本大震災で被害を受けた商店街の復興を目的に制定された補助事業を活用して

行いました。

シンポジウムのテーマは「食の理念と現実」、「食を思い、国見を思う」。第1部では福島屋会長福島徹氏の講演が、第2部では福島氏と町内の事業者、農業者、消費者によるパネルディスカッションが行われました。福島氏は「世界はフクシマを気にかけている。商売をする人は、心を込めて生産した農家の思いが消費者に届くよう気遣うことが大切」と話しました。

また、3月10日から3日間、東京都羽村市と東京都品川区で国見町の特産品販売も行い、大勢の客でにぎわいました。

町の復興に向かって「食」の分野でも、みんなが一体となって取り組んでいます。写真提供：国見町商店街活性化委員会



羽村市での販売促進活動

◆福島徹（ふくしまとおる）さん…東京都羽村市で食品スーパーを経営。生産者と直接取引するなど産直品を積極的に導入、食の安全を消費者に分かりやすく伝えるなど、独自の経営を進めている。また、今年には原発事故による風評被害に苦しむ福島の米の販売に取り組んでいる。



春の乾燥期前に火の用心 消防団による初午行事



国見町消防団（吉田春夫団長）による初午行事が3月11日、国見町内で各分団ごとに行われました。初午行事は、春の乾燥する季節を迎える前に、火の用心を呼びかけたり、消防水利の確認をするものです。また、新築された家屋に放水する「火伏せ」も各分団ごとに行われました。

（写真は、建設中の地下式防火水槽を視察する幹部団員）

京野菜を植えるなどの交流 京丹後市のボランティアが来町



京都府京丹後市口大野地区のボランティア26名が3月10日、上野台仮設住宅などを訪れ、仮設住宅に入居している方と交流をしました。

交流では、一緒に京野菜の苗を植えたり、うどんづくりなどをしました。また、京丹後地方の郷土料理の「ばらずし」（最終ページに写真）が振る舞われました。今回の交流は、口大野地区の被災地支援で企画され、京丹後市職員の嶋田さんが国見町に派遣されていることから実現されました。

和やかなトークに魅了 大和田新アナウンサーが講演



国見町社会福祉協議会による福祉講演会が3月16日、JA伊達みらい国見会館で開催されました。

講演会では、ラジオ福島アナウンサーの大和田新氏が講師を務め、「心をつないで」という演題で話をしました。大和田氏は、東日本大震災時に、地元の放送局として、被災地のことが良く分かるからこそ、無責任な放送ができなかったことなど当時の様子を振り返り話しました。また、終始和やかなトークに、会場の人々は魅了されていました。

結成40周年を祝う 小坂地区スポーツ振興会



小坂地区スポーツ振興会（朽木碩也会長）の結成40周年記念式典・祝賀会が3月17日、JA伊達みらい国見会館で開催されました。

記念式典では、会の運営に貢献された方への感謝状贈呈があり、また祝賀会では、町内で活動する「ドリーム・サウンズ」のバンド演奏も行われました。

同会は、昭和47年3月に地区民の体力づくりを目的に結成され、これまで小坂小と地区の合同運動会や夏の盆踊り大会などを開催してきました。

28年間の活動を振り返る 藤田ソフトボールスポ少解団式



藤田ソフトボールスポーツ少年団の解団式が3月18日、JA伊達みらい国見会館で開かれ、出席者全員で発足当時の苦労など、28年の歴史を振り返りました。

解団式には、現団員や保護者のほか、歴代の指導者やキャプテンも出席し、指導者としてご尽力されてきた方への感謝状贈呈などがありました。

町内のソフトボールスポーツ少年団は、4月から統合して1つのチームとなります。

1に運動、2に食事 メタボ予防教室開催



メタボ（※）予防教室が2月28日、観月台文化センターで開かれ、講師の公立藤田総合病院副院長の近藤祐一郎先生が予防と改善方法について、分かりやすく説明しました。

メタボは、薬で良くなるものでなく、1に運動、2に食事、そして禁煙が重要であるとのこと。教室の参加者は、近藤先生の説明に熱心に耳を傾けていました。

※メタボ…メタボリックシンドローム。内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上を合わせもった状態。（厚生労働省ホームページより）



- ① 式歌を歌う卒業生（県北中）
- ② 9人の卒業生（大木戸小）
- ③ 修了証書授与（藤田幼稚園）
- ④ 式歌を歌う卒業生（大枝小）
- ⑤ 11人の卒業生（森江野小）
- ⑥ 卒業証書授与（小坂小）
- ⑦ 卒業証書授与（藤田小）
- ⑧ 修了の記念撮影（森江野幼稚園）

卒業・修了 おめでとう

卒業シーズン 中学校・小学校・幼稚園・保育所から、卒業生・修了生が、たくさんの思い出とともに、それぞれの新しい道へと巣立っていきました。

伝統芸能の狂言を楽しむ 「狂言を楽しむ会」を開催



古典鑑賞会（高橋幸子代表）主催の狂言を楽しむ会が3月28日、観月台文化センターで開催されました。今回の舞台は、震災による被災地支援の一つとして、狂言の世界で有名な狂言師の網谷正美さんと松本薫さんの2人が会話劇を披露しました。今回の舞台では、狂言装飾の着付け方の公開もあり、会場の人々は会話劇と舞台裏の両方を楽しむことができました。

まちのわだい

閉校前に思い出を刻む 大枝小学校で感謝のつどい



大枝小学校閉校に伴う感謝のつどいが3月14日、児童、保護者、地区の代表、教職員が参加し開かれ、小学校の思い出を心の中に刻みました。つどいでは、大枝小学校に関する〇×クイズ、昔の校舎や運動会など学校行事の写真がスライドショーで紹介され、大枝小学校の歴史を振り返りました。昭和29年7月より歩んできた組合立学校の歴史は、今年3月にその幕が閉じられました。

県の選抜選手として活躍 福島県ソフトテニス連盟優秀選手に



福島県ソフトテニス連盟表彰が行われ、国見ジュニアに所属する佐藤未来さん（森江野小6年、写真左）と原田由文さん（伊達市堰本小6年）の2人が優秀選手賞を受賞しました。2人は、昨年開催された第1回東日本小学生大会の福島県代表選手として出場し、優勝したことが評価され、今回の受賞となりました。受賞した2人は、「中学校でも大きな大会で頑張りたい」と新たな目標を話していました。

昔の農具について学習 小学生が社会科見学



藤田小学校と小坂小学校の3年生（2月28日）と4年生（3月15日）の社会科見学が、観月台文化センターで行われました。この日は、旧佐藤家住宅内に保管されている農具について、町の文化財ボランティアを務める佐藤治男さん（宮東）から、農具の名称やどのように使ったかの説明を、昔の生活状況を踏まえて説明を受けました。



担任の先生を先頭に
退場する卒業生
(県北中)



おともだちと一緒に
記念に写真撮影
(藤田保育所)



新しく完成したばかり
の体育館での卒業式
(藤田小学校)

- ① 6年間お世話になった母へ花束を贈る卒業生（小坂小）
- ② 在校生との別れ（大枝小）
- ③ 卒業生答辞（県北中）
- ④ お別れの歌を歌う（藤田保育所）
- ⑤ 卒業証書授与（森江野小）
- ⑥ 6年生を送る会（大枝小）
- ⑦ 修了証書を見せる園児（森江野幼稚園）
- ⑧ 卒業証書授与（大木戸小）
- ⑨ お別れの歌を歌う（藤田幼稚園）



子宮頸がん予防ワクチン

接種費用助成期間を延長

子宮頸がん予防ワクチンの供給状況により接種できない期間があったことから、次の対象者の方の接種費用助成期間を平成24年3月31日から平成25年3月31日まで延長します。

◆対象者◆

中学2年生相当～高校2年生相当
(平成7年4月2日～平成11年4月1日生まれ)の女子
※ただし、高校2年生相当(平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ)の女子は、平成24年3月31日までにワクチンを1回以上接種した場合に限ります。

子宮頸がん予防ワクチンは次の2種類(サーバリックス・ガーダシル)ありますが、十分な予防効果を得るために必ず同じ種類のワクチンを3回接種することが必要です。接種するワクチンの種類については医師にご相談ください。

ワクチン名	接種回数等	接種にあたっての注意事項
サーバリックス	接種回数3回 (初回接種から1カ月後に2回目、初回接種から6カ月後に3回目を接種) 子宮頸がん原因ウイルスの2種類に有効	接種途中から別のワクチンに切り替えることに対する有効性・安全性のデータはありませんので、 <u>必ず同じワクチンを3回接種してください。</u>
ガーダシル	接種回数3回 (初回接種から2カ月後に2回目、初回接種から6カ月後に3回目を接種) 子宮頸がん原因ウイルスの4種類に有効	

平成24年度 春のポリオ 予防接種

～平成24年から個別接種となります～

- 対象者 生後3か月から90か月未満までの1回もしくは2回未投与の乳幼児
- 持参物 母子健康手帳
※予診票(複写式)は各医療機関に備え付けてありますので、予防接種手帳の予診票(単票)はお使いにならないようお願いします。
- 接種方法 次に示す指定医療機関に電話等で予約の上、1回接種するようにしてください。

指定医療機関 ※必ず事前予約をしてください。

医療機関名	予防接種指定時間等	
公立藤田総合病院 ☎ 585-2121	5月15日(火)・5月29日(火) 午後1時30分～2時	要予約
(医)くまだ小児クリニック ☎ 583-5656	日程は、電話でご確認ください。 時間は、午後2時～2時30分	要予約
(医)桑名医院 ☎ 583-3024	4月4日(水) 午後1時30分～2時	要予約
(医)石川小児科内科クリニック ☎ 575-5523	4月4日(水)・13日(金)・27日(金) 午前10時30分～12時、午後2時30分～4時 ※上記の時間で都合の悪い方は、診療時間内であれば可能です。	要予約
さとうファミリークリニック ☎ 574-2811	4月の火・木・金 午前10時～12時、午後2時30分～2時45分 4月の土 午前10時～12時	前日まで要予約
(医)武田小児科 ☎ 575-2439	4月2日(月)・3日(火)・4日(水)・5日(木)・13日(金) 20日(金)・27日(金) 午後1時30分～1時45分 ※上記の時間で都合の悪い方は、ご相談ください。	要予約
こばやし子ども・内科クリニック ☎ 577-0663	4月2日(月)・10日(火)・18日(水)・28日(土) 時間は、電話でご確認ください。	前日まで要予約

総合検診がはじまります!!

平成24年度の総合検診は5月28日～6月1日、4日～9日、11日(延べ12日間)に実施します。
詳細につきましては、検診が近くなりましたら「総合検診のお知らせ」を各戸に配布いたします。

*年齢起算日は平成25年3月31日です。(②の検診以外)

検診名	対象者	留意点
①胸部レントゲン検診	40歳以上の方	①～⑥の検診：先に実施しました「健康管理世帯調査台帳」で町の検診を希望した方に受診録等を配布します。 ⑦の検診：検診会場で希望を伺います。詳細は「総合検診のお知らせ」でご案内します。
②健康診査	受診日に満75歳(※)以上の方 (後期高齢者医療制度加入者)	
③胃がん検診	40歳以上の方	
④大腸がん検診	40歳以上の方	
⑤前立腺がん検診	50歳以上の男性	
⑥骨粗鬆症検診	40、45、50、55、60、65、70歳の女性	
⑦肝炎検査	40歳以上の方で今まで肝炎検査未受診の方	
⑧特定健康診査(特定健診)	40～75歳未満の方(受診日に満74歳までの方) (国見町国民健康保険加入者)	国見町国民健康保険加入の対象年齢の方には町から受診録等を配布します。

※65～74歳の方で後期高齢者医療制度加入者も含まれます。

①～⑦の検診は町が住民に対して(②の健康診査は県広域連合より町に委託されて)実施しますが、⑧の特定健診は各医療保険者がその保険の加入者に対して実施します。(保険証でご自身の加入している医療保険者を確認願います。)なお、社会保険加入者の方(被扶養者のみ)も町で実施する健診会場に『保険証』と医療保険者が発行する『受診券』を持参することで、受診できる場合もありますので各医療保険者からのお知らせ等でご確認ください。

*** ニコニコ相談会 ***

対象者	実施日	受付時間	会場
国見町在住の妊婦、 国見町在住の乳幼児及びその保護者	6月20日(水)	午前10時～ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】身体測定、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》母子健康手帳、お子さんの飲み物(水筒に入れて)を忘れずに!
《申し込み方法》前日まで保健福祉課または藤田保育所(☎585-2374)に電話でお申し込みください。

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成24年2月生まれ) ・9か月児(平成23年8月生まれ)	6月28日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて9か月児は、歯科衛生士による歯に関するお話も予定しています。
《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに!

*** 1歳6ヵ月児健診 *** ※会場が変更になります。

該当児	実施日	受付時間	会場
平成22年10月11日～ 平成22年12月20日生まれの幼児	6月21日(木)	午後1時30分～午後2時	小坂農村総合管理センター

【健診内容】内科と歯科の医師の診察、歯科衛生士による歯みがき指導、生活保健指導、身長・体重測定を行います。
心理判定員による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。
栄養指導(おやつを試食)もあります。
《持参するもの》母子健康手帳と1歳6ヵ月児健康診査票(必要事項を記入してください)を忘れずに!

くらしの 情報

お知らせ

学生の国民年金保険料猶予制度

所得が少なく保険料を納めることが困難な20歳以上の学生の方は、保険料の納付が猶予される『学生納付特例制度』をご利用いただけます。

学生納付特例の承認を受けると、その期間中の障害や死亡といった不慮の事態には、障害基礎年金・遺族基礎年金を受け取ることができます。また、承認を受

けた過去の期間の保険料は、十年前までさかのぼって納めることができるため、社会人になってから追納（後払い）すると年金額に反映することができません。

申請は毎年必要です。

平成24年度分の学生納付特例の申請は4月から受付となりますので、希望される方は、年金手帳、学生証の写し又は在学証明書、印鑑をお持ちになり役場保健福祉課で申請してください。

なお、平成23年度において学生納付特例制度を申請し、保険料納付を猶予されている方で、平成24年度も引き続き在学予定の方は、基礎年金番号等が印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書が3月末に送付されています。平成23年度と同じ学校等に在学される方は、このハガキに必要記載事項を記入し返送されると、平成24年度も学生納付特例の申請ができます。この場合は、在学証明書等の添付は不要です。

また、平成24年度は学生納付特例制度を利用せず、

保険料の納付を希望される場合は納付書を送付いたしますので、お手数ですがお近くの年金事務所にご連絡ください。

◆問い合わせ

保健福祉課国保係
☎58512785

すこやか福島ねんりんピック参加者募集

うつくしま、ふくしま。

健康福祉祭「第20回すこやか福島ねんりんピック」が5月24日、会津若松市及び須賀川市で開催されます。次の内容により各競技種目の参加者を募集しますので、お知らせします。

▼競技種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール（5月23日、24日）、ゲートボール、ベタンクゴルフ（6月8日）、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、ウォークラリー、なぎなた、太極拳、ソフトラレールボール、ターゲット、ハードゴルフ、パウンドテニス、クロリティー、ディスクゴルフ、マレットゴルフ、囲碁、将棋

▼競技参加資格 県内在住の60歳以上の方（昭和28年4月1日以前に生まれた

方）

▼参加申込 参加料は、無料です。ゴルフ交流大会を除く全ての競技の参加申込期限は4月20日（金）までです。（ゴルフ交流大会の申込期限は、5月16日（水）です。）なお、観覧のみ場合は、申込の必要はありません。

◆問い合わせ

（財）福島県老人クラブ連合会
☎52312131
福島県高齢福祉課
☎52117197

「国の教育ローン」のご案内

「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学などに入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

▼融資額 学生・生徒一人につき300万円以内
▼利率 年2・55%（母子家庭は年2・15%）※平成24年1月31日現在
●東日本大震災により被害

を受けた皆さまに「災害特例措置」を実施しています。ご利用いただける方など、お申込みに関するご相談は、

教育ローンコールセンターまでお問い合わせください。

◆問い合わせ
教育ローンコールセンター
☎0570-008656
（ナビダイヤル）ナビダイヤルがご利用いただけない場合の電話番号
☎03-5321-8656

藤田総合病院の眼科診療日が縮小

公立藤田総合病院では、眼科医師の退職により、4月から週1回、木曜日の午

前中のみの診療となります。診察は、予約の患者さんを中心となり、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ
公立藤田総合病院医療情報管理課
☎58512121

震災・原発事故などの相談を受け

福島県弁護士会では、次の被災者支援活動を行っていますので、ご利用ください。

●震災・原発無料電話相談（相談料は無料ですが、通

話料がかかります）

▼受付時間 平日午後2時～午後4時
☎024-534-1211
☎024-925-6511
☎0242-27-2522
☎0246-25-0455

●震災・原発無料相談（予約制）

▼実施場所 福島、二本松、郡山など県内の7箇所
▼予約方法 平日午前10時～午後4時まで ☎0120-1700-791（フリーダイヤル）へお電話ください。
●原子力発電所事故被害者救済支援センター
▼支援内容 原発事故の被害者救済を支援するため、弁護士を紹介いたします。（相談

は3回まで無料）
▼受付窓口 平日午前10時～午後3時まで
☎024-533-7770

必ずチェック 最低賃金！

福島県の最低賃金が変わりました。
時間額658円となりました。使用者も労働者も必ずチェックしてください。

◆問い合わせ
福島労働局貸金室
☎536-4604
福島労働基準監督署
☎536-4610

戸籍の窓口

2月21日～3月20日受付分

●結婚おめでとう●

菅野 善博さん (大坂)
安部 梨絵さん

●誕生おめでとう●

高橋 怜央ちゃん (貝田)
和志さん 麻美さん
高橋 蒼河ちゃん (並柳)
綾介さん 朋美さん
松田 梨愛ちゃん (宮東)
博人さん 智美さん
深川 那桜ちゃん (板橋南)
克茂さん 幸子さん

●おくやみ申し上げます●

八島 正晴さん 67 (山崎北)
安藤 玉井さん 85 (板橋)
野田 實さん 83 (第11)
遠藤ヤイ子さん 74 (山根)
小鹿フミ子さん 84 (宮東)
菊地 善作さん 84 (第12)
熊坂 榮一さん 90 (内谷東)
吉田キヌ子さん 77 (宮町南)
中村 サイさん 94 (源宗山西)
佐藤 壯男さん 76 (錦町)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

平成24年2月29日現在
人口 10,168人 (△21)
男 4,921人 (△9)
女 5,247人 (△12)
世帯 3,336世帯 (△5)
※広報くにもみでは住民基本台帳人口を掲載しています。

【5月の心配ごと相談】

・開催日及び相談員
10日(木) 児童相談
松浦 知弘さん
鈴木 道代さん
24日(木) 後藤 信雄さん
高原ミエ子さん
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前9時～正午

【4月と5月の障がい者相談】

・開催日 4月24日(火)
5月22日(火)
・場所 観月台文化センター 保健指導室
・時間 午前10時～午後4時
・相談事業受託者 特定非営利法人福島・伊達 精神障害者福祉会「ひびきの会」

農業委員会 総会の日程

町農業委員会の総会では、農地の賃貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。
・日時 2月20日(月) 午後1時30分
3月19日(月) 午後1時30分
・場所 観月台文化センター 大研修室
◆問い合わせ 農業委員会事務局 ☎585-2890

固定資産の 閲覧・縦覧期間の変更

固定資産税課税台帳の閲覧と土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧の期間について
6月1日(金)～7月31日(火)
に変更します。
◆問い合わせ 税務課課税係
☎585-2778 または 2779

松岡修造のテニスパーク

プロテニスプレーヤー松岡修造さんが国見を熱くする!

日時 6月2日(土) 午前9時50分~午後2時45分

会場 上野台運動公園グリーンアリーナ 923

NHK 福島放送局と国見町では、『NHK スポーツパーク松岡修造のテニスパーク』を開催します。一日を通してテニスに親しむことができますので、多くの皆さまのお申し込み・ご来場をお待ちしています。



講師
プロテニスプレーヤー
松岡修造

○○○プログラム○○○

- ① キッズクリニック (10:00~11:00) 【要事前申込】
※小学校1~4年生のテニス未経験者対象
※スポンジボールと短いラケットを使用したショートテニスです。
- ② 一般クリニック (11:10~12:40) 【要事前申込】
※高校生以上の硬式テニス中・上級者対象
- ③ ショートテニス体験コーナー (12:40~13:20) 【参加自由】
- ④ 修造にチャレンジ (13:30~14:00) 【当日受付(定員30名)】
- ⑤ ミニトーク&お楽しみ抽選会 (14:00~14:45) 【参加自由】

◆観覧は自由ですが、プログラム①・②は郵便往復はがきによる事前申込が必要です。締切は、5月2日(水)必着。応募多数の場合は、抽選となります。応募方法など詳しくは町内会回覧をご確認ください。

◆問い合わせ 生涯学習課文化スポーツ係 ☎ 585-2676



ゲームを楽しむ参加者

プロに学んでスキルアップ
2月23日、3月1日の2回にわたり、ワンランク上のボウリングを目指そうと「ボウリング上達教室」を開催しました。

からしまボウル福島所属の清水俊彦プロを講師に迎え、ボールやレーンの特徴や正しい投げ球の方法の説明を受けた後、実際に投げの練習をしました。2回目には講師を交えてゲームをし、スコアに一喜一憂しながらも参加者同士の交流を楽しみました。

町長杯スポーツ大会

出場者募集!!

◆競技種目・会場

日 時	競技種目	会 場
5月20日(日) 9:30	ソフトボール	上野台総合運動場
	テニス(男複・女複)	上野台テニスコート
5月26日(土) 9:00	グラウンドゴルフ	上野台総合運動場
5月27日(日) 9:00	軟式野球	上野台総合運動場
	家庭バレーボール	文化センター体育館

- ◆代表者会議 5月10日(木) 19:00 観月台文化センター
- ◆総合開会式 5月20日(日) 9:00 上野台運動公園総合運動場
- ◆表彰式 観月台文化センター 入賞者に別途案内します。

◆参加資格

- ◆町内在住又は在勤の社会人又はそれで編成したチーム
- ◆町体育協会登録会員又はチーム
- ◆町内同一職場又は事務所で編成したチーム



【申し込み】

5月7日(月)まで

【問い合わせ】

生涯学習課文化スポーツ係
(☎ 585-2676)
※大会要項・参加申込書は、
観月台文化センター窓口で
配布しています。

スポーツ

プロに学んで スキルアップ

2月23日、3月1日の2回にわたり、ワンランク上のボウリングを目指そうと「ボウリング上達教室」を開催しました。

民話の成り立ち、 語りの決まりを学ぶ

民話の語りべ体験講座を2月18日、25日、3月3日の3回にわたり「国見民話の会」の皆さんを講師に開催しました。

受講生は、民話の成り立ちや語りの決まり、語りべの注意点を学び、最終日には「国見の民話」などを発表しました。

最後に、講師の皆さんよ



「語り継ぐ方が増える」との感想がありました。

「語り継ぐ方が増える」との感想がありました。

「語り継ぐ方が増える」との感想がありました。



そば作り体験

匠の技術を学ぶ 「キラリ匠体験教室」

キラリ匠体験教室を3月4日、町内の小学3年生から6年生の28人の参加により実施し、白河市でそば作りと勾玉(古代の宝石)作りの体験をしました。

そば作りでは、そば職人

の指導でそば粉の質感や水加減の難しさ、ほんのり甘い香りなどを感じながら、練る作業、そばを伸ばす作業、大きな包丁で細く切る作業を行い、新鮮でおいしいそばを食べることが出来ました。

勾玉作り体験では、紙ヤスリを用いて根気よく、材料の石(柔かい滑石)を磨き、思い思いのまがたまをつくることに成功しました。また、作ることで歴史を学び、自分だけの宝を手に入れました。

その他にも、火おこし体験や展示見学など、楽しみ



まがたま
勾玉作りの説明を受ける

ながら匠の技術を学びました。

参加者は、そば打ちや勾玉作りなど、映像や写真で見たり、実際に体験したこと、触感・匂い・達成感などを味わい楽しむことができました。

しなやかに力強く! 輝くウーマンパワー!



講演を聞く教室生

くみ女性教室閉講式と最終学習会を2月29日、観月台文化センターで開催しました。

閉講式では、生涯学習課長より「震災後で大変な年であったにも関わらず、意欲的に学習されたことに敬意を表します。今後も女性教室での学びを家庭、地域で活かしてください。」とのあいさつがありました。

その後の最終学習会では「ひいらぎの会」代表世話人の鈴木牧子氏による『笑顔で乗り越える病も悲し

るまで、闘病生活を通じての考え方の変化、リレーフォーライフとの出会いなど、前向きに生きる姿勢の体験談に、教室生は真剣に聞き入っていました。

平成24年度も、実りある学習の実施に努めていきますので、多くの方の参加をお待ちしています。

生涯学習 つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎ (585) 2676 FAX (585) 2707
E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp
http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

行事のお知らせ

《4月》

- 15日(日) 家庭の日
- 26日(休) ブックスタート
- 27日(金) 成人学級開講式

《5月》

- 7日(月) 休館日
- 8日(日) 子ども移動図書館(国見小3年生)
- 10日(休) 阿津賀志学級開講式
- 16日(休) 女性教室開講式
- 20日(日) 町長杯スポーツ大会
家庭の日
- 22日(火) 子ども移動図書館(国見小2年生)
- 23日(水) 子ども移動図書館(国見小1年生)
- 24日(木) ブックスタート
- 26日(土) 町長杯スポーツ大会
- 27日(日) 町長杯スポーツ大会
- 29日(火) 子ども移動図書館(国見小3年生)
- 30日(休) 子ども移動図書館(国見小2年生)

お世話になりました



社会教育指導員
中村 洋平

国見町公民館社会教育指導員として観月台文化センターに9年間お世話になりました。お手伝いを通して生涯学習の重要性を痛感しました。

もっともっと多くの方々が阿津賀志学級等に参加して老後生きがいのある楽しい生活をおくって頂きたいと思いました。特に男性の方の入級を歓迎します。

長い間大変お世話になりました。



まちのサークル

和やかな雰囲気
からうまれる
美しいハーモニー

VOL 7

国見フラウエン

プロフィール

- ・代表者 阿部 紀子
- ・活動日 不定期土曜日
- ・主な活動場所 観月台文化センター
- ・会員数 13名
- ・会費 3,000円/月
- ・問い合わせ 阿部紀子 ☎ 585-4903

建物中に響き渡る美しい歌声。練習会場の扉を開けるとそこでは、国見フラウエンの皆さんが発声練習をしていました。

国見フラウエンは、昭和46年4月町公民館のコーラス教室として発足、翌昭和47年に「国見フラウエン」と改名して現在に至っています。主な活動としては、福島県おかあさん合唱連盟主催の「県おかあさん合唱祭」、町文連主催の「音楽芸能発表会」に参加しています。また、近隣団体との交流事業に参加し、過去にはラトビアやロシアなどの海外交流コンサートにも参加

してきました。

会員の皆さんにサークル活動の楽しいところを聞く、「みんなで歌を歌うときの和やかな雰囲気がいい」「みんなが集まるとハーモニーを作り上げるところがいい」「みんなで一つの曲を仕上げ、その曲の出来栄が良いと気持ちいい」など、楽しく活動している様子がうかがえました。

「現在、新指揮者の渡辺聖子先生を迎え、40年間ご指導いただいた故板垣忠直先生の追悼コンサートに向けて練習中です。追悼コンサートでは、故板垣先生が作詞・編曲した「国見の春」を披露します。多くの方々はこの曲を聴いていただきたいです」。代表の阿部紀子さんは、故板垣先生への感謝の気持ちを込めて「国見の春」の美しいハーモニーを披露することを話してくださいました。

「故 板垣忠直先生追悼コンサート」

- ◆日時 4月29日(日) 午後1時～
- ◆場所 福島市音楽堂



「はらすし」
▶京丹後地方の郷土料理

小さな天才たち

藤田小学校

(学年は進級前の学年です。)



「まるのせかいであそぶ」やまざき さら(1年)



「海の中のクラゲとカメ」ふじわら れん(2年)



「羽根のあるネコ」樋口 桃の(3年)

あとがき

皆さんに元気と感動をお伝えすることを目標に「広報くにみ」を発行してきましたが、私も卒業の春を迎えました。これまで取材や情報提供のご協力をいただきました多くの皆さんありがとうございました。ご協力ありがとうございました。「広報くにみ」は、これからも町の皆さんを応援していきます。毎月の発行を楽しみに待っていてください。

(A.S)



この印刷物は、「大豆油インキ」を使用しています。



国見町

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字観月台15 国見町観月台文化センター内 国見町役場(仮庁舎)

TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2181 E-mail kikaku@town.kunimi.fukushima.jp URL www.town.kunimi.fukushima.jp/